

2010年度柘植小学校キャリア教育全体プラン

	エンパワメント	リテラシー	キャリアビジョン
	自分のくらしを見つめ、自分を取りまく人々の願いを受けとめ、生活を高めていこうとする力	教科の学力を高め、情報を正しく活用し、確かな判断力をもとに問題を解決していく力	多様な人生モデル、職業モデルとの出会いや体験活動を通して、自分なりの生活や将来を思いえがき、必要なスキルを身につけようとする力
低 学 年	<p>★つづることで自分を見つめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あのね」(日記) ・事実を順番に思い起こす ・場面を切り取る <p>★人権・部落問題学習を通して、生活を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族紹介 ・誕生の様子 ・親の仕事 ・地区紹介(友だちのおうちたんけん) ・木曜学習との連携 地域のすてきなことを伝える 地域のすてきな人と出会ったことを伝える 	<p>★授業の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な考えを導く発問の工夫 ・必要な情報を取捨選択できるような課題設定特に算数では、場面をイメージしやすい設定を工夫する ・大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聴く態度を育てる ・学習日記の活用 ・基礎内容の確認…漢字、カタカナ、計算 ・教材、教具などの工夫 ・学んだことの整理、発信 (「学校たんけん」「おうちたんけん」「生い立ち学習」等の場面で、絵に表したり、ペーパーサートや紙芝居で表現したりする) <p>★日常活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の会、帰りの会の利用 絵本や物語の読み聞かせ 「おはなしをしよう」(1分間) <p>★家庭との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「家庭学習強調月間」 ・基本的な生活リズムの確立 ・30分以上の家庭学習習慣 	<p>★出会いや体験活動を通して、身近な労働や職業について理解を深める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校たんけん」 ・「生い立ち学習」 ・「お店やさんたんけん」 ・「家族の仕事調べ」 ・「社会見学(キッザニア甲子園)」 <p>★出会いや体験活動を通して、今の自分の生活を高め、将来を思いえがく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせ(仕事について) ・「生い立ち学習」におけるお家の人からの聴きとり ・親の仕事の聴きとり ・体験活動(野菜づくり)
中 学 年	<p>★つづることで自分を見つめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日記 ・「思い出し直し」の作業 ・「くらしぶり」に目を向ける <p>★人権・部落問題学習を通して、生活を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域学習 ・人権センターの役割 ・聴きとり(人権センター、まちづくり協議会、家族) ・木曜学習との連携と木学の意義 人権センター紹介 「なぜ木学をしているのか」を保護者やセンターの方々からの聴きとりをとおして考える 	<p>★授業の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な考えを導く発問の工夫 ・必要な情報を取捨選択できるような課題設定特に算数では、場面をイメージしやすい設定を工夫する ・話の中心に気をつけて聴き、自分の考えをまとめる態度を育てる ・学習日記の活用 ・教材、教具などの工夫 ・一読総合法 <p>★日常活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の会、帰りの会の利用 小テスト(表現処理等) 日直のスピーチ(1分間) 読み聞かせ 読書活動 <p>★家庭との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「家庭学習強調月間」 ・基本的な生活リズムの確立 ・60分以上の家庭学習習慣 	<p>★出会いや体験活動を通して、身近な労働や職業について理解を深める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ処理・活用、警察、消防署で働く人の仕事を理解し、その人たちが責任をもって働いていることを知る ・校区探検(「つげまちたんけんたい」「お仕事探検隊」) ・社会見学、体験活動(バックヤード見学、工場見学) ・「ようこそプロ」 ・「ランチルーム労働体験」 <p>★出会いや体験活動を通して、今の自分の生活を高め、将来を思いえがく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校区探検、社会見学、体験活動(野菜づくり)
高 学 年	<p>★つづることで自分を見つめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週1時間の「つづり方」の授業 ・「思い出し直し」の作業 ・日常「ネタ帳」に書き留める ・友だちのくらしに自分のくらしぶりを重ねる <p>★人権・部落問題学習を通して、生活を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聴きとり(部落解放運動、漢字学級、他者との関係性) ・木曜学習の意義 自尊心を育てる 被差別部落の友だちの隣にいる自分の問題に気づく 家族や地域の人々の生き様に自分を重ね、差別をなくせるといふ展望をもつ 	<p>★授業の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な考えを導く発問の工夫 ・必要な情報を取捨選択できるような課題設定特に算数では、場面をイメージしやすい設定を工夫する ・話している人の意図を考えながら、話の内容を聴く態度を育てる ・学習日記の活用 <p>★日常活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の会、帰りの会の利用 漢字テスト、算数の復習プリント 日直のスピーチ 読書活動 ・集会等での発表の工夫(ポケとツっこみ) <p>★家庭との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「家庭学習強調月間」 ・生活リズム表の作成 ・90分以上の家庭学習習慣 ・学習方法の習得 	<p>★出会いや体験活動を通して、身近な労働や職業について理解を深める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「13歳のハローワーク」の読み聞かせ ・本やインターネット等を利用しての職業調べ ・ワークシートによる「適性チェック」 ・職場体験を通して自分の適性や課題に気づき、将来像をえがく <p>★出会いや体験活動を通して、今の自分の生活を高め、将来を思いえがく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聴きとり ・修学旅行で大学を見学し、将来の選択肢を広げる ・職場体験の事業所からの評価を通して、自分を見つめ、「社会で働く」時に必要な力に気づき、自分の今の課題について考え、将来展望をもつ

2010年度柘植中学校キャリア教育全体プラン

	エンパワメント	リテラシー	キャリアデザイン
	自分のくらしを見つめ、自分を取り巻く人々の願いを受けとめ、生活を高めようとする力	教科の学力を高め、情報を正しく活用し、確かな判断力をもとに問題を解決していく力	多様な人生モデル、職業モデルとの出会いや体験活動を通して、自分なりの生活や将来を思いえがいた進路を選択する力
中 一 年	<p>★つづることで自分を見つめる</p> <ul style="list-style-type: none"> 日記から、場面を切り取る。 その子にとって見つめさせたい内容の思い出し直しをする。 <p>★人権・部落問題学習を通して、生活を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> 職業体験学習から見てきた地元の職業やそこで働く人の聞き取りを通して、地区のくらしに触れる。 地域で活動している方からの聞き取りを通して、自分の生活と重ね、取り組んでいる姿やその活動にける思いを知る。 	<p>★互いを知り学び合う授業の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な考えを導く発問の工夫 実生活と結びつけた課題設定 主に国語科、数学科の授業の中で、読み・書き・計算の基礎内容の確認小テストを継続的に実施する。 1時間の授業でわかったことや気づいたことを学習日記にまとめる。 <p>★日常活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝の読書（読み聞かせも含む）を通して、語彙数を増やし、読書の楽しさや興味を持たせる。 帰りの会での日直のスピーチ みんなの前で、自分の考えを自分のことばで伝えられるように、一日の生活の振り返りをまとめ1分間スピーチを行う。 <p>★家庭との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活リズムを確立するために学校や家庭での生活の様子、家庭学習の様子や時間について、予定連絡帳や健康チェック・〈がんばりま表〉に記録する。 5教科を中心に授業の復習や次の授業につながる予習内容の宿題や、自ら課題を決め学習を進める自主学習を90分以上する家庭学習を進める。 	<p>★出会いや体験活動を通して、身近な労働や職業について理解を深める</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者や身近な人からの仕事の聞き取りを通して、内容や、その仕事に就いた理由、やりがい、家族への思いなどを知る。 「一日弟子入り体験」 <p>校区内にある事業所を知り、職業体験や聞き取りを行う。そのことを通じて自分を育ててきた地元の産業や、まちの暮らしを支えてきた人たちに会おう。また、これらの学習を通して自分の進路選択に対する関心を高め、職業選択の視野を広げる。</p> <p>★出会いや体験活動を通して、今の自分の生活を高め、将来を思いえがく</p> <ul style="list-style-type: none"> 先輩に聞くⅠ（高校生） なぜその学校や学科を選んだのかや高校生活について話を聞き、自分の進路について考える。 将来就きたい職業、そのために必要な資格や学歴、その職業に就くために今何をがんばるのかが書かれた「13歳での進路航海図」を作成し、13歳時の就職までの見直しを持つ。
中 二 年	<p>★つづることで自分を見つめる</p> <ul style="list-style-type: none"> 班ノートや日記から、場面を切り取る。 その子にとって見つめさせたい内容の思い出し直しをする。 <p>★人権・部落問題学習を通して、生活を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国高等学校統一用紙ができた経緯やそれに向けた願いを知ることで、身の回りにおける矛盾や不合理を解決しようとする力を育てる。 先輩に聞く 差別のことで人とつながるという話を聞いて、自分の友達関係を振り返り、自分と周りの人とのつながりについて考える。 オキナフの人権・環境・平和について調べ、命の尊さを知り、自分の命のつながりや家族の大切さを考える。 	<p>★互いを知り学び合う授業の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な考えを導く発問の工夫 実生活と結びつけた課題設定 主に国語科、数学科の授業の中で、読み・書き・計算の基礎内容の確認小テストを継続的に実施する。 1時間の授業でわかったことや気づいたことを学習日記にまとめる。 <p>★日常活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝の読書（読み聞かせも含む）を通して、語彙数を増やし、読書の楽しさや興味を持たせる。 帰りの会での日直のスピーチ みんなの前で、自分の考えを自分のことばで伝えられるように、昨日のニュースや新聞を読んで、感想や考えをまとめ1分間スピーチを行う。 <p>★家庭との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活リズムを確立するために学校や家庭での生活の様子、家庭学習の様子や時間について、予定連絡帳や健康チェック・〈がんばりま表〉に記録する。 5教科を中心に授業の復習や次の授業につながる予習内容の宿題や、自ら課題を決め学習を進める自主学習を2時間以上する家庭学習を進める。 	<p>★出会いや体験活動を通して、身近な労働や職業について理解を深める</p> <ul style="list-style-type: none"> 先輩に聞くⅡ（社会人） なぜその仕事に就いたのか、仕事に就くまでや就いてから考えたことを聞き、自分と重ねて将来就きたい仕事について考える。 適性検査の結果を家族や友達と話をし、自分の就きたい職業について考えを深める。 <p>★出会いや体験活動を通して、今の自分の生活を高め、将来を思いえがく</p> <ul style="list-style-type: none"> インターンシップ（5日間の職業体験） 自分が就きたい仕事の希望に沿った事業所で働くことで、この仕事に就きたいという気持ちを高める。または、自分の就きたい仕事と違うということに気づく。将来就きたい仕事を具体化し、その実現のために今できることは何か逆算して考え実践する。 インターンシップを通して、社会の現実を知る。現在の自分の課題を見つめ、これから自分がすべきことは何か考え実践する。
中 三 年	<p>★つづることで自分を見つめる</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人ノートや班ノートから、場面を切り取る。 その子にとって見つめさせたい内容の思い出し直しをする。 <p>★人権・部落問題学習を通して、生活を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> オキナフ修学旅行での聞き取りや見学を通して、命の尊さを知り、自分の命のつながりや家族の大切さを考える。 夜間中学や識字学級との交流を通して、「学ぶ」ことや自分の進路を、自分のくらしと重ねて考える。 自分のくらしをみつめ、これからの自分の生き方について、進路公開で発表する。 	<p>★互いを知り学び合う授業の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な考えを導く発問の工夫 実生活と結びつけた課題設定 主に国語科、数学科の授業の中で、読み・書き・計算の基礎内容の確認小テストを継続的に実施する。 1時間の授業でわかったことや気づいたことを学習日記にまとめる。 <p>★日常活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝の読書で、週1・2回の読み聞かせを行い、語彙数を増やし、読書の楽しさや興味を持たせる。 帰りの会での日直のスピーチ みんなの前で、自分の考えや思ったことが伝えられるように、自分の周りや社会出来事について感想や考えをまとめ2分間スピーチを行う。 <p>★家庭との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活リズムを確立するために学校や家庭での生活の様子、家庭学習の様子や時間について、予定連絡帳や健康チェック・〈がんばりま表〉に記録する。 5教科を中心に授業の復習や次の授業につながる予習内容の宿題や、自ら課題を決め学習を進める自主学習と、さらに3年間の学習の復習を3時間以上の家庭学習を進める。 	<p>★出会いや体験活動を通して、身近な労働や職業について理解を深める</p> <ul style="list-style-type: none"> 高校について調べたり、高校生活入門講座に参加し、高校生活の一端にふれる。 <p>★出会いや体験活動を通して、今の自分の生活を高め、将来を思いえがく</p> <ul style="list-style-type: none"> 夜間中学や識字学級で学ぶ人々との出会いを通して、なぜ「学ぶ」のかを考え、自分を振り返る。また、自分の将来をデザインし、現在の自分の課題をどう克服していくか考え実践する。 家族や身近な人と将来について話し合う中で、自分の進みたい方向を決定する。 クラスの中で自分の将来について「こんな仕事や将来をめざしたいから、この高校に行く」と話すことができる。